

# 7月物価 3.1%上昇

## 前年比 伸び率鈍化も高水準

総務省が18日発表した7月の全国消費者物価指数(2020年=100、生

鮮食品を除く)は前年同月比3.1%上昇の105.4だった。前年同月を上回

るのは23カ月連続。伸び率は6月の3.3%から鈍化した。食料品や宿泊料な

どが幅広く値上げされ、11カ月連続で3%以上となり、高水準が続いた。政府の対策が予定通り9月末で終われば、物価上昇が加速する可能性がある。

調査した522品目のうち、8割を超える437品目が上昇した。42品目が下落し、横ばいは43品目だった。

内訳は、生鮮食品を除く食料が9.2%上昇した。原材料費や物流費などの高騰を受け、上昇率は6月と変わらず高止まりしている。このうち、唐揚げなどの調理食品が10.0%、アイスクリームなどの菓子類が11.5%上昇した。外食は人件費の増加もあり5.5%上がった。

宿泊料は15.1%と大幅に上昇した。観光需要の回復や全国旅行支援の一部終了が影響した。通賃料(携帯電話)も通賃料金プランの改定で10.2%と大きく伸びた。

一方、エネルギーは資源価格の下落や政府の価格抑制策などにより8.7%低下した。うち電気代は16.6%、都市ガス代は9.0%下がった。ガソリンは政府の抑制策の縮小で1.1%上がり、今年1月以来6カ月ぶりに上昇に転じた。生鮮食品とエネルギーを除く指数は4.3%上昇の104.9だった。伸び率は2カ月ぶりに拡大した。